

## 3月度定例会・セミナー



鹿住協3月度 定例会

セミナーを前に挨拶する  
逆瀬川理事長

県住宅産業協会(逆瀬川勇理事長)は3月16日、鹿児島市の鹿児島サンロイヤルホテルで3月度定例会を開いた=写真=。恒例のセミナーには、会員ら約70人が参加。住宅産業

企業年金基金や鹿児島市が取り組んでいるコンパクトなまちづくりについて説明を受けた。

第1テーマは、住宅産業企業年金基金の古賀由浩常務理事が「全国住宅産業協会(全住協)の年金制度」について解説。同基金が取り扱う「らいふぶらん年金」を紹介し、加入による事業主のメリットなどを提案した。

第2テーマでは、鹿児島市都市計画課の日高謙次郎主幹と西薗智毅主査が講師を担当。鹿児島コンパクトなまちづくりプランについて説明し、市街化調整区域における指定既存集落の区域見直しや立地適



住宅企業年金基金の紹介



コンパクトシティづくりについて説明する  
鹿児島市都市計画課の日高主幹

## 懇親会



懇親会にあたり、挨拶する  
逆瀬川理事長

懇親会に先立ち逆瀬川理事長は、「当協会の活動が県下に広報され、入会を希望する会社からの問い合わせも増えている。4月で設立2周年を迎え、昨年67社の会員数も新たに

15社の新規入会をいただいた」また、「11月の全住協鹿児島大会に向け、各委員会が創意工夫を凝らし万全の準備をしてほしい」と、全国大会の成功へ向けて力強く挨拶した。

岩下克己副理事長の乾杯の発声で開宴。参加者は互いに杯を酌み交わし親睦を深め、さらなる成長に向けて展望を語り合った。また、7委員会からの活動報告事項が発表されたほか、新規入会員の紹介も行われた。

## 平成29年度各委員会の活動方針

### ○総務委員会(有菌米也委員長)

- ①11月16日に開催される鹿児島大会の成功に向けて精一杯活動する
- ②来賓担当として、多くの人を招聘し鹿住協の知名度を上げる
- ③事務局と連携を図り、会員企業が全社参加する定例会を目指す
- ④各委員会と連絡を密にし、今年度の事業計画を側面から支援する

### ○研修委員会(上野敏孝委員長)

- ①会員企業に必要と思われるセミナーを2ヶ月に1回開催する
- ②熊本のビルダーが「熊本地震において実践したお客様支援について」のセミナーを開催する
- ③会員相互の連携や視察研修の実施を図り、会員企業の成長に役立つ研修に努める

### ○組織委員会(水口隆浩委員長)

- ①組織の強化拡充を図るとともに、会員企業の従業員の資質向上を目指す
- ②各委員会と連携を取りながら会員企業90社を目指す
- ③今年度開催される全住協鹿児島大会をアピールし、会員獲得を積極的に行っていく
- ④鹿児島大会の2次会においては、県外のお客様に夜の天文館を楽しんでいただく

### ○広報委員会(小野大委員長)

- ①主な行事のプレスリリースなど、マスコミへの広報を積極的に行っていく
- ②例会後速やかに「鹿住協だより」を発行すると同時に内容の充実を図っていく
- ③今年度の全国大会における小旅行(エクスカーション)を企画し実施する。同時に、大会開催については総務委員会と共に協会を先導していく

## 新規入会員



楠木 俊二  
(株富士開発鹿児島支店)



藤川 将勝  
(株MA建築設計室)



濱田 良樹  
(株時輝工業)



濱田 龍彦  
(万代ホーム株)

## 次回定例会のご案内

日時 平成29年5月18日(木) 受付 17:30~

場所 鹿児島サンロイヤルホテル(鹿児島市与次郎)

○総会 18:00~19:00  
○懇親会 19:00~21:00

